

重厚な響きと確かな構成力。ドイツの良き伝統を今に伝える名オーケストラ。
円熟のマエストロとの集大成を聴く。

ハンブルク北ドイツ放送交響楽団

NDR-SINFONIEORCHESTER HAMBURG

2003年 **5/18** (日) 17:00 (開場16:00)

京都コンサートホール

Sunday, May 18, 2003 at 5p.m.
Kyoto Concert Hall



クリストフ・エッシェンバッハ 指揮
CHRISTOPH ESCHENBACH, Chefdirigent

シューベルト：交響曲第7番 口短調
「未完成」D.759

Schubert: Sinfonie Nr.7 b-moll 'Die Unvollendete' D.759

マーラー：交響曲第5番 嬰ハ短調
Mahler: Sinfonie Nr.5 cis-moll

入場料

S¥13,000 A¥10,000 B¥7,000 C¥5,000

(京都コンサートホール 会員価格
S¥11,700 A¥9,000 B¥6,300 C¥4,500)

京都コンサートホール会員 12月4日(水)10時~
カジモトフレンズ 優先予約
一般発売 12月6日(金)10時~

主催：京都市 / 梶本音楽事務所 / 京都コンサートホール(財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)
後援：ドイツ連邦共和国大使館 協力：株式会社 BMGジャパン

チケットのお問合せ・お申込み

京都コンサートホール ☎ 075-711-3090

カジモトプレイガイド ☎ 06-6345-2751

<http://www.kajimotomusic.com/>

チケットびあ ☎ 0570-02-9990

ローソンチケット ☎ 0570-00-0409

CNプレイガイド ☎ 06-6776-1199

e+(イープラス) eee.eplus.co.jp (パソコンもケータイも同じアドレス)

阪急プレイガイド(三番街) ☎ 06-6373-5446

京都音協プレイガイド ☎ 075-211-0261

エラート音楽事務所 ☎ 075-751-0617

●やむを得ぬ事情により内容の変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しは致しませんのであらかじめご了承願います。●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。(託児室をご利用下さい。但し定員になり次第締め切ります。要予約 TEL:075-711-2296) ●カジモトプレイガイドでは発売日に限りご来所での受付はいたしません。

Photo: 木下下見

クリストフ・エッセンバッハと言えば、日本の聴衆には、現在もピアニストのイメージが強いのではないだろうか。しかし欧米では、今一番ホットで、飛びぬけて魅力のある指揮者として、広く知られている。その人気ぶりは、あるいは実感としては想像し難いかもしれない。しかし、彼が首席指揮者を務めるパリやハンブルクでは、「エッセンバッハこそは現代を代表するマエストロ」との評価が、完全に定着している。

筆者にとっても彼は、アメリカの洗練とヨーロッパの懐の深さを兼ね備えた、理想的な存在である。とりわけマーラー指揮者としては、掛け値なしにトップ・ランクに属すると思われる。北ドイツ放送交響楽団との再来日では、《交響曲第5番》が取り上げられるが、この曲は、2年前のシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭でも指揮している。その時の演奏は、筆者が聴いたあらゆるマーラーのなかでも、最も感動的なものであった。

同時にギドン・クレーメルとの共演も、大きな魅力である。彼とエッセンバッハは、日頃から共演を重ねており、ハンブルクでのコンサートも多い。クレーメルは著作中でエッセンバッハについて語っているほどだが、そのふたりがシュニツケを演奏するというのも、素晴らしい選曲である。作曲家自身と交流のあった彼らならではの、核心に迫った演奏が聴けるに違いない。

城所 孝吉 (音楽評論・ベルリン在住)

Photo: NDR/Steve J. Sherman

ハンブルク北ドイツ放送交響楽団 NDR-SINFONIEORCHESTER HAMBURG

第二次大戦直後の1945年夏、指揮者ハンス・シュミット=イッセルシュテットの尽力により創設された。1982年首席指揮者にギュンター・ヴァントが就任、妥協を許さぬ厳密な指導によりオーケストラの実力と名声は一段と高まった。その後のガーディナー、プロムシュテットを継いで、1998/99年シーズンからクリストフ・エッセンバッハが首席指揮者に就任した。ドイツの伝統を受け継ぐがっしりした構成、重厚な響きが高く評価されている。

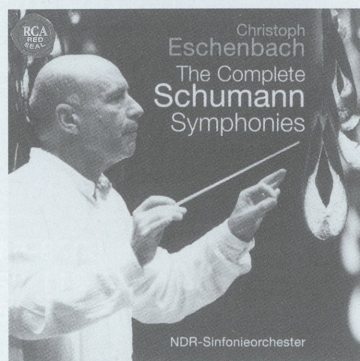
ハンブルク、キール、リュベック、ブレーメンで公演を行う一方、放送局所属のオーケストラとして北ドイツ放送 (NDR) のラジオ・テレビ番組のために膨大な作品を録音している。海外ツアーも多く、2000年には春にエッセンバッハと秋にヴァントと来日してファンの熱い支持を得た。

●公式ホームページ <http://www.ndr.de/sinfonie/>

クリストフ・エッセンバッハ (首席指揮者) CHRISTOPH ESCHENBACH, *Chefdirigent*

1940年シュレジア地方のプレスラウ (現ポーランドのプロツワフ) に生まれた。1950年にハンブルクを訪れ、10歳でスタインウェイ・コンクール第1位受賞。ハンブルク音楽大学でピアノをエリーザ・ハンゼンに、指揮をブリュックナー=リュッケベルクに師事。1965年ハスキル・コンクールに優勝を飾り、世界的なピアニストとして活躍。1972年指揮者としてデビュー。ルートヴィヒスハーフェン音楽総監督、チューリヒ・トーンハレ管指揮者、ヒューストン響音楽監督を歴任。1998/99年シーズンからハンブルク北ドイツ放送響の首席指揮者としてドイツ音楽の真髄を聴かせている。1999年からシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭芸術監督、2000/01年シーズンからバリ管弦楽団音楽監督も兼任。2003/04年シーズンからフィラデルフィア管弦楽団音楽監督に就任する。

Eschenbach & NDR-Sinfonieorchester



ドイツの実力オーケストラ、北ドイツ放送響のシェフ、エッセンバッハ目録の録音!

シューマン 交響曲全集

序曲「メッシーナの花嫁」
クリストフ・エッセンバッハ (指揮)
北ドイツ放送交響楽団

●録音: 1998年11月3-5日、12月21-23日、
1999年2月1-4日、リュベック

BVCC-34028~29 [2枚組]

特別価格 ¥2,854 (税込)

CD好評発売中

株式会社 BMG ファンハウス
<http://www.bmgjapan.com>

~楽団創設100周年を祝うアジアツアー。

園庭アイヴィスと庄司紗矢香による夢のような共演が実現!!

ロンドン交響楽団

サー・コリン・デイヴィス: 指揮
庄司紗矢香: ヴァイオリン

2004年 3月9日(火) 19時 京都コンサートホール



シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 二短調
ストラヴィンスキー: バレエ「火の鳥」全曲 / 他

9月28日(土) 発売予定

入場料

S ¥18,000 A ¥14,000 B ¥10,000 C ¥6,000

お問合せ先

京都コンサートホール 075-711-3090

カジモトプレイガイド 06-6345-2751